

市長に奥ノ木氏3選

任期満了に伴う川口市長選挙が2月6日に行われ、奥ノ木信夫氏(70歳)が当選しました。

市長就任にあたって 川口市長 奥ノ木 信夫



このたび、川口市長として3期目の市政を担わせていただくこととなりました。皆様から寄せられた大きな期待と課せられた使命を厳粛に受け止め、決意も新たに重責を果たして参ります。

私は、「公平公正であること」、「弱いところに光をあてる」という政治信条の下、平成26年の市長就任以来、「川口の元気づくり」のため、3大プロジェクトをはじめ、中核市への移行で設置した市保健所による主体的で迅速な新型コロナウイルス感染症対策など、市政運営に全力を尽くして参りました。このような中、「住んで良かった」と実感していただけるよう取り組んださまざまな施策が実を結び、住宅ローン専門金融機関が実施する「本当に住みやすい街大賞」で4年連続ランクインを果たすなど、

「弱いつところに光をあてる」という政治信条の下、平成26年の市長就任以来、「川口の元気づくり」のため、3大プロジェクトをはじめ、中核市への移行で設置した市保健所による主体的で迅速な新型コロナウイルス感染症対策など、市政運営に全力を尽くして参りました。このような中、「住んで良かった」と実感していただけるよう取り組んださまざまな施策が実を結び、住宅ローン専門金融機関が実施する「本当に住みやすい街大賞」で4年連続ランクインを果たすなど、

3期目の市政運営にあたり、今後4年間に取り組むべき政策として、自然保護や環境との共生、60万人都市にふさわしい文化・芸術の高揚、さらには働きやすいまちづくりなど、34項目からなる政策宣言「みんなのでつくる川口の元気づけ」を掲げました。引き続き、ワクチン3回目接種の推進など新型コロナウイルス感染症対策を喫緊の優先課題として、本市が持続的な発展を遂げ「さらなる選ばれるまち」となるようスピード感をもってさまざまな施策に全力で取り組んで参ります。

市長選挙候補者別得票数(敬称略)

候補者氏名	得票数
おくのき信夫	80,555票
宮川なおき	20,086票
合計	100,641票

投票者数と投票率

当日有権者数		投票者総数	投票率
男	242,002人	52,325人	21.62%
女	237,680人	51,605人	21.71%
合計	479,682人	103,930人	21.67%

みんなでつくる川口の元気 第3ステージ

人々の元気

- さらなる子育てしやすいまちへ
- いじめ根絶に向けた取り組みの強化
- 川口市立高等学校のさらなる教育力の向上
- スポーツ振興・関連施設の計画的な整備の推進
～神根総合運動場の整備～
- 多文化共生の推進
- 拉致問題解決に向けての支援強化

産業の元気

- さらなる働きやすいまちへ
- 都市農業・緑化産業のさらなる振興
～国際園芸博覧会への出展等～
- 持続可能な社会を目指し脱炭素への取り組み強化
- ポストコロナ社会を見据えた経済政策の推進
- 地元経済への貢献を優先した新戸塚環境センターの建設

くらしの元気

- (仮称)川口北警察署の新設
- 医療センターがんケア病棟の開設
- 口腔保健センター設置
- 障害者施設の増設
- ヤングケアラーへの支援
- 地域の防災・防犯体制のさらなる強化
- 救急・救命体制のさらなる充実強化

まちの元気

- 選ばれるまちにふさわしい文化・芸術の高揚
- DXを活用した行政サービスの推進
- 区画整理・基盤整備事業のさらなる促進
- 中距離電車の川口駅停車と周辺整備
- 東川口駅のホームドアの整備
- 自然保護対策の推進
～エコロジカルネットワークの構築等～

地域の元気

- 老朽化した社会教育施設の合築、更新
(仮称)横曽根公民館・根岸公民館・鳩ヶ谷公民館)
- NHKスタジオ整備と連動したS K I Pシティの活性化
- ハイウェイオアシスの一体整備によるイイナパークのさらなる活性化
- 年間来場者80万人を目指したグリーンセンターの再整備
- 江川流域の浸水対策の推進
- 東川口駅前行政センターの整備
- 東川口駅周辺の浸水対策の推進
- 沼田公園(旧鳩ヶ谷市民プール跡地)の防災公園としての整備
- (仮称)東消防署の整備による消防力の強化
- 市街化調整区域におけるまちづくり